

目 次

I. 総括研究報告	
全国調査から見た早産児ビリルビン脳症の臨床像	1
奥村彰久	
II. 分担研究報告	
1. 早産児ビリルビン脳症児の新生児期臨床データの解析	10
奥村彰久	
2. 早産児の黄疸管理の実態調査とアセトアミノフェンがアンバウンドビリルビン測定に与える影響	15
森岡一朗	
3. 成人の早産児ビリルビン脳症の臨床的特徴	19
荒井 洋	
4. 本邦における新生児黄疸の診断、治療などの実態調査	21
早川昌弘	
5. 早産児ビリルビン脳症におけるUGT1A1変異の関与	25
丸尾良浩	
6. 光環境がビリルビン測定に与える影響の検討	27
日下 隆	
7. 新生児黄疸に対する新基準を用いた光療法の実態調査	29
國方徹也	
8. 超早産児において遷延する高アンバウンドビリルビン血症とその特徴	31
岩谷壮太	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	37